

第5章

～基本目標5 市民と地域、行政が協働して築くまちづくり～



第5章 基本目標5 市民と地域、行政が協働して築くまちづくり

個別目標1 市民が連携し、みんなで支えあうまちづくり

3. 広域的交流と移住の推進

移住促進事業

担当 総務部 企画振興課 企画振興係 TEL : 39-2304	総事業費	300万円
	富良野市の負担額	239万円
	お試し暮らし住宅の 住宅貸付料	61万円

【事業の目的】

富良野市では、人口減少・少子高齢化の対策として、富良野市への移住を考えている方への相談や、首都圏等へのプロモーション活動、お試し暮らし住宅を提供するなど、移住のための情報提供を積極的に取り組んでいます。

【富良野の住まいの情報バンク】

市内の空き住宅情報を提供、登録していただき、富良野市のホームページで紹介しています。住宅を提供していただける方と住宅を探されている方を結びお手伝いをしています。ホームページの閲覧件数は月平均1,500件を超えています。

富良野市内に空き家物件を所有している方がありましたら情報をお寄せ下さい。

「富良野の住まい情報バンク」QRコード→



【富良野市お試し暮らし住宅】

旧教員住宅を利用して、テレビや冷蔵庫などの家電製品やイスやテーブルなどの家具を準備し、移住希望者が富良野市での生活を実体験できる住宅を提供しています。布部に2棟を整備し1か月～3か月の間、生活体験をしていただきます。



【富良野移住フェアの開催】

東京、大阪、名古屋で開催される北海道移住促進協議会主催の移住フェアの参加と合わせて、富良野市だけの移住相談会を『移住・交流情報ガーデン』で実施します。富良野市への移住に関心を持つ方々にまちの魅力をPRするとともに、移住者が抱える疑問や不安に対して、相談を受け移住までの情報提供を行っていきます。



4. 地域活性化の推進

地域おこし協力隊派遣事業

担当
総務部
企画振興課
企画振興係
TEL : 39-2304

総事業費	496万円
富良野市の負担額 (特別交付税措置)	496万円

【事業目的】

人口減少や少子高齢化が進む地域において、地域資源を活用した地域活性化や地域コミュニティの形成等を行い、地域の維持と強化を図るため、『地域おこし協力隊』を派遣し、地域協力活動の支援を行います。

【地域おこし協力隊とは】

首都圏を中心とした都市部の住民が概ね1年以上3年程度、地域で生活（住民票を移動）し、地域協力活動を行います。地域おこし協力隊員は期間終了後もその地域に定住できるよう市や地域がサポートしていきます。

【派遣先及び派遣人数】

- 東山地区 1名（平成27年度～）
- ラジオふらの 1名（平成28年度～）

【昨年の活動実績】

東山地区では『ふらの東山エリアフォトコンテスト』を実施し、98組316作品を集めました。その後、市内で展示会を実施するなど東山の魅力を発信しています。



ふらの東山エリアフォトコンテスト展示会の様子

第5章 基本目標5 市民と地域、行政が協働して築くまちづくり

個別目標1 市民が連携し、みんなで支えあうまちづくり

4. 地域活性化の推進

出会い総合サポート事業

担当

市民生活部

ふれあいセンター

出会い総合サポート係

TEL：22-2001

総事業費

133万円

富良野市の負担額

133万円

【事業の目的】

全国的に人口減少や少子化が大きな課題となっており、未婚率の増加や出生数の減少が、その要因の一つとされています。平成27年度に富良野市が行ったアンケート調査の「未婚の理由」に、「結婚相手にまだめぐり合っていないから」と回答した「結婚したいが出会いがない」と考えている多くの独身者に出会いの機会や情報を提供することを目的とします。

【事業の対象】

結婚に向けた出会いを求める市民やその親族

【事業の内容】

- ・結婚に向けた出会いを求める市民を支援します。
- ・地域の世話役としての「出会いサポーター」を募集し、出会いの支援や相談などを行います。
- ・出会いの登録・紹介制度「らぶ縁だぁ」を実施し、出会いの仲介や情報提供を行います。
- ・民間団体などが行う、独身男女の出会い支援を目的とした取り組み（婚活イベントなど）を支援します。
- ・独身男女の出会いのきっかけとなるイベントを実施します。
- ・北海道の結婚サポートセンター「北海道コンカツ情報コンシェル」などと連携し、独身者を対象にした各種講座などの情報を周知します。

